



新年度のスタートに当たって

校長 高橋 いずみ

新1年生92名を迎え、全校児童635名、25学級、教職員51名で、平成30年度がスタートしました。子どもたちは、新しい学年になり、張り切って活動しています。校舎には、子どもたちの明るい声が響き、グラウンドでは思い切り体を動かす姿が見られます。学校全体が、生きるエネルギーに満ちあふれています。

今年度も葛塚小学校は、昨年度の成果と課題を踏まえ、教育目標「**高め合い 共に生きる子**」の実現に向けて職員が一丸となって教育活動を進めていきます。特に平成30年度は、子どもたちの10年後、20年後の姿を見据え、人間形成の基盤となる「知・徳・体」の3つの柱について考え直しました。そして、目指す子どもの姿を以下の3つに決めました。

知 はっきり話す子

徳 助け合う子

体 健康な体づくりに取り組む子



葛塚小学校の子どもたちのよさは、伸びやかさ、子どもらしい素直さ、明るさです。これは、他校の子どもにはない葛塚の子のよさです。そのかけがえのないよさを大切にしつつ、将来、たくましく生き抜き、社会で活躍する人となるために、小学校では、どんな力を付けることが大切なのか検討しました。そして、目指したいことは、たくさんありましたが、目標をはっきりさせるために絞り込みました。多くの文言を盛り込まず、シンプルにし、子どもたちにも職員にもわかりやすいものにしました。

さらに、その3つの中でも、「はっきり話す」ということについて特に力を入れていきたいと考えています。その始めの一步は、挨拶と返事です。挨拶には、相手があります。挨拶は、自分と相手の人とをつなぎます。相手の人を思う心を伝えます。返事も同様です。返事も自分と相手をつなぎます。相手の思いを受け止め、受け止めたこと相手に伝えます。挨拶や返事は社会で生きる基本です。まず、この基本を大切にし、自分の思いや考えを話すことや、学んだことを話すことができる子どもの育成につなげていきたいと思えます。今年度も当校の教育活動に対する一層のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。